

私立大学図書館協会  
2010年度第2回東西合同役員会議事要録

日時：2011年3月4日（金） 13時55分～16時30分

場所：大阪ガーデンパレス 桐の間

出席者：名簿（別紙）のとおり

議事に先立ち、会長校挨拶の後、出席者の自己紹介が行なわれた。  
議事進行は、北川勝彦関西大学図書館長が担当した。

1. 報告事項（2010年8月～2011年2月）

(1) 協会会務報告

会長校関西大学（金）から配付資料（p.3-7）にもとづき報告が行なわれた。

(2) 東地区部会会務報告

東地区部会長校青山学院大学（添田）から配付資料（p.8-11）にもとづき報告が行なわれた。

(3) 西地区部会会務報告

西地区部会長校同志社大学（井上）から配付資料（p.12-21）にもとづき報告が行なわれた。

(4) 委員会報告

1) 協会賞審査委員会報告

協会賞審査委員会委員長（慶應義塾大学：石黒）から配付資料（p.22）にもとづき、2011年2月25日開催の同委員会について報告があった。

2) 研究助成委員会報告

研究助成委員会委員長（立教大学：小泉）から配付資料（p.22）にもとづき、2011年1月27日開催の同委員会について報告があった。

3) 国際図書館協力委員会報告

国際図書館協力委員会委員長（立命館大学：臼井）から配付資料（p.22-24）にもとづき、会議報告ならびに実施事業について報告があった。

4) 協会ホームページ委員会報告

協会ホームページ委員会委員長（中央大学：渡来）から配付資料（p.24-25）にもとづき、会議報告ならびにWWW情報資源提供サービス利用状況について報告が行なわれた。

## (5) 協会関連事項報告

会長校関西大学（金）から配付資料（p.25-26）にもとづき、主として次のような報告が行なわれた。

### 1) 国公立大学図書館協力委員会について

第69回国公立大学図書館協力委員会が2010年11月11日に開催され、著作権に関する権利者側の要望事項に係る意見募集ならびに電子ジャーナル・コンソーシアムの連携強化について説明があった。

### 2) 国会図書館長と大学図書館長との懇談会について

2010年11月11日に開催された標記の懇談会で、IFLA年次総会開催地に国立国会図書館が立候補したことならびにWebサイト情報収集と公開の状況、博士論文デジタル化の進捗状況について説明があった。

### 3) 著作権に関する権利者側の要望事項に係る意見募集について

国公立大学図書館協力委員会大学図書館著作権検討委員会・ワーキンググループから次のことについて意見募集の依頼があり、私大図協発第10-67号（2010年11月15日付）文書（メールマガジンによる）により周知するとともに意見募集への協力依頼を行なった。

- ・発行後相当期間を経過した定期刊行物に掲載された個々の著作物を図書館が複製する場合において、権利者が出版物等に適宜、「発行後相当期間」を表示すること
- ・私的使用目的の複製ならびに教育を担任する者及び授業を受ける者がする複製など著作権法第31条以外の複製について、図書館は館内において禁止すること

### 4) 電子ジャーナル・コンソーシアムの連携強化について

国立情報学研究所と大学間で協定を締結し、ワーキング・グループを設置した。プレスリリースを実施した。新たな組織の設置に向けた準備を行なっている。

### 5) 日本図書館協会について

2011年3月18日に第2回評議員会が開催されることならびに同協会が社団法人から公益法人への移行のため定款変更を図っていることについて説明があった。

## (6) 協会役員校、委員会および協会関連団体委員について

会長校関西大学（金）から配付資料（p.27-29）にもとづき、次期役員校および委員会委員の確認が行なわれた。

### 付記

その後、2011年3月14日付で国公立大図書館協力委員会委員館（配付資料 p.28 の(3)協会関連団体）に関西大学を追加した。

(7) 2011年度行事・会議予定について

会長校関西大学（金）から配付資料（p.30）にもとづき、次年度の日程確認が行なわれた。

2. 協議事項

(1) 2010年度一般会計・特別会計決算報告（案）について

会長校関西大学（金）から配付資料（p.31-35）にもとづき次の説明ならびに提案が行なわれた。

一般会計について

- ・次年度繰越金は約1,768万円である。前年度繰越金と比較して約117万円増である。
- ・総会・研究大会特別会計より約28万円、研究助成委員会より約36万円の戻入がある見込みである。
- ・通信費は時間が切迫する場合にメールマガジンを利用するなどした結果、約7万円の黒字となった。
- ・会報刊行費は約47万円の黒字となった。
- ・印刷費が赤字となった。
- ・海外認定研修は5件採択された。1件につき5万円の補助金額は適切であったと思われる。
- ・協会HP運営費は英語ホームページの更新を外部委託するための代金30万円にあてられる。

特別会計について

- ・研究助成特別会計において紀伊国屋書店・丸善・雄松堂書店から寄付があり、予算どおりの収入であった。
- ・国際図書館協力特別会計において14社から145万円の寄付があった。2009年度搬送事業における未実施分として業者より25万円の返金があった。

総会・研究大会特別会計について

- ・開催支援金を180万円から140万円に減額した結果、タイトな予算編成になったが、滞りなく実施できた。
- ・総会・研究大会特別協力費に、9社からインフォデスク出展料として合計18万円の収入があった。
- ・貸切バス代金は6台で427,200円となり、全車満員であった。手提げ袋（予算額63,000円）は西南学院大学より贈与された。
- ・資料作成費において、総会研究大会冊子は新規加盟校の勧誘用に100冊を加え、計900冊を印刷した。
- ・第71回総会・研究大会からの一般会計への戻入として約28万円が見込まれる。

(2) 2011年度事業計画（案）について

会長校関西大学（金）ならびに次期会長校立教大学（石川）から配付資料（p.36-38）

にもとづき次の説明ならびに提案が行なわれた。

- ・加盟館の規模の大小や立地場所などに配慮し、バランスのとれた活動を展開したい。本協会の歴史・原点を確認し活動を再構築していく。
- ・配付資料 (p. 36-38) に下線を付した部分が昨年からの変更点である。「協会史のデジタル化」と「協会ホームページの充実」は新たな項目である。また本年は新しくサーバーを入れ換えることから、その活用状況を見極めたうえで、情報の共有化を図りたい。

協議の結果、提案のとおり承認された。

### (3) 2011年度一般会計・特別会計予算(案)について

会長校関西大学(金)から配付資料(p. 39-41)にもとづき、次の説明ならびに提案が行なわれた。

一般会計について

- ・デジタル化した協会史をホームページにアップするため事務費を30万円から40万円に増額した。
- ・協会HP運営費は予算上は0円であるが、サーバーのメンテナンスやコンテンツの作成・維持を外注するためのドキュメント・仕様書を本年度中にまとめることができれば発注手続きに入り、最大300万円までは予備費から支出したい。
- ・海外認定研修は事業として定着したと思われるので、国際図書館協力特別会計に補助費として50万円を支出する。

特別会計について

- ・収入は、研究助成特別会計ならびに国際図書館協力特別会計ともに例年どおりの金額を予定している。
- ・国際図書館協力特別会計に海外認定研修補助費を新設した。

総会・研究大会特別会計について

- ・開催地が東京であるので参加者は350名と見込んで予算を編成した。
- ・開催支援費は140万円としたい。
- ・会場運営費一式は、会場設備の管理を行なっている業者に委託することを考慮して予算計上した。
- ・来場者用バッグとして60万円を計上した。

協議の結果、異議なく了承された。また従来どおり2011年度総会までは暫定予算として執行することとなった。

### (4) 第72回(2011年度)総会・研究大会について

会長校関西大学(金)ならびに当番校早稲田大学(荘司)から配付資料(p. 42-43)にもとづき、標記について説明ならびに提案が行なわれた。

協議の結果、提案のとおり承認された。

(5) 2010年度協会賞について

協会賞審査委員会委員長（慶應義塾大学：石黒）から配付資料（p. 44）にもとづき、1件の推薦の概要および採否が答申された。

協議の結果、答申のとおり承認された。

(6) 2011年度研究助成について

研究助成委員会委員長（立教大学：小泉）から配付資料（p. 45-46）にもとづき、2件の申し込みの概要および採否が答申された。

協議の結果、答申のとおり承認された。

(7) 私立大学図書館協会加盟館インフォメーションサービスについて

協会ホームページ委員会委員長（中央大学：渡来）から配付資料（p. 54-65）にもとづき、標記のサービスについて現在の運用状況の報告ならびに来年度より正式運用を開始することの提案があった。

協議の結果、提案のとおり承認された。

### 3. 懇談事項

(1) 次期役員校、総会当番校、委員会委員の選出について

会長校関西大学（金）から、現時点で会長校が把握しているデータをもとに作成した標記の配付資料（p. 47-53）にもとづき説明があり、種々懇談を行なった。

(2) 協会賞の審査にあたっての申し合わせについて

協会賞審査委員会委員長（慶應義塾大学：石黒）から標記について次の説明があり、方向性を了承するとともに今後の手続きについて種々懇談を行なった。

- ・ 標記の規程および申し合わせを改訂したい。
- ・ 文言をわかりやすくするとともに、これからの図書館の新たな活動を評価するための部門を新設したい。
- ・ 採択の基準を明確にすることで応募をしやすくし、活性化を図りたい。

(3) 図書館長リレーメッセージについて

会長校関西大学（北川・金）から、加盟館インフォメーションサービスを利用して役員校図書館長がメッセージを発信していることの説明があり、種々懇談を行なった。

以上、すべての議事を終了し、議長が閉会を宣した。

以 上